

呉工業高等専門学校報

目 次

入 学 式 式 辞	・ ・ ・ ・ ・	2159 頁
卒 業 式 式 辞	・ ・ ・ ・ ・	2160 頁
学 内 規 則	・ ・ ・ ・ ・	2161 頁
人 事 異 動	・ ・ ・ ・ ・	2164 頁
諸 報	・ ・ ・ ・ ・	2165 頁
行 事 日 誌	・ ・ ・ ・ ・	2199 頁
そ の 他	・ ・ ・ ・ ・	2202 頁

入学式式辞

平成 27 年 4 月 5 日

校長 森野 数博

春爛漫の今日の佳き日、ご来賓ならびに多数の保護者のみなさまをお迎えして、ここに平成二十七年度の入学式を挙行できますことは、本校教職員ならびに在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席のみなさま方に対し、心から御礼申し上げます。

新しく入学あるいは進学されたみなさん、ご入学、おめでとう。呉高専は、みなさんを心から歓迎いたします。専攻科に進学された方々を別にすれば、多くのみなさんにとって、高専における生活は未知のものでしょう。新しい生活に少し不安を抱きながらも、今日の日が待ち遠しかった人も多いのではないかと思います。これから踏み出そうとする未知の世界へ大きな期待をもっておられるみなさんに、私から次のエールを贈りたいと思います。

「何でもいい。好きなことに夢中になり、懸命に取り組み、己を磨け」

昨年、呉高専は創立 50 周年を迎え、新たな半世紀に第一歩を踏み出しました。その記念講演において、東京スカイツリーのデザイン監修者であった澄川喜一先生は、「未来に翔く若者へのメッセージ」のなかで、期待を込めて最後にこうおっしゃられました。「ノーベル賞、とってね」

呉高専はプロの技術者を育てる学校です。技術は原理を具現化する手段であり、さまざまなものを創り出すことによって暮らしを豊かにし、人々に多くの幸せを運んできました。ですから、「人類に最大の恩恵をもたらした人物」に贈られるノーベル賞は、みなさんのめざす技術の分野にも該当する訳です。昨年受賞対象となった青色発光ダイオードの開発は、まさにその象徴といえるでしょう。「ノーベル賞、とってね」という澄川先生のメッセージは決して夢物語ではなく、現実性もある我々への応援歌であろうと思っています。

みなさんはいま、それぞれ将来の夢をもっていることと思います。世の中に新たなものを生み出し、人々の役に立つ、これは醍醐味があります。ここ呉高専で学ぶ知識や技術は、みなさんがそれぞれに抱えている夢を叶える大きな手段であり、知識や技術を学ぶことが、より大きな夢を形作ることになるのです。本日ここに入学あるいは進学されたみなさん。みなさんには、先人達が嘗々と築き上げてきたこれらの財産の上にみなさん自身の夢を重ね、さらにその先をめざしていただきたい。そのとき大切なことは、夢中になるということです。

青色発光ダイオードでノーベル物理学賞を受賞した天野先生は、不可能と思われていた質のいい窒化ガリウムの結晶化を実現するため、卒業研究から取り組み始めた 3 年間で 1500 回以上実験を繰り返したそうです。途方もない回数ですが、じつに楽しかったとか。先生は言っています。「何かを実現するためにコツコツやる、その努力は決して無駄にはならないし、何らかの形で実を結ぶ。一生懸命考え、諦めず、邁進することが大事」

みなさんには学業、研究、クラブ活動、何でもいい。夢中になれるものを見つけ、みなさん自身の可能性を信じ、懸命に取り組んでいただきたい。ちょうど本校では、今年度から、みなさんを“世界目線”の技術者へと孵化させる「地域発・インキュベート型教育」を、全校あげて、本格的に推進いたします。ここでは、さまざまなコンテストへの応募をはじめ、自由な課題にチャレンジすることを求めています。これらも積極的に活用し、果敢に挑戦していただきたい。

呉高専は、じつに恵まれた環境にあります。呉の地は、かつては東洋一の技術力を有する海軍工場をもった特別な町であり、気候は温暖、アクセスもよし、キャンパスは広々としており、設備も最新。みなさんを支える教職員スタッフも充実しています。なにより、大きな夢をもつすてきな仲間が各地から集まっています。今日入学を許可されたみなさんは、これらをすべて自由に使うことができるのです。このような申し分ない環境のなかで、頭を、体を、心を存分に鍛え、己を磨くことにより、みなさんの未来をこのキャンパスで育み、夢を叶えていただきたい。

Realize Your Dream。「君の未来を共に創る」。本校がみなさんに呼びかけたキャッチフレーズです。同年代の多くの人とは進路を異にし、いろいろな思い入れをもってこの呉高専に入学されたみなさん。みなさんは我々の宝です。50 周年を機に教育方針を大きく見直しましたが、宝物であるみなさんの夢の実現に向け、私をはじめ、本校の教職員は皆、気持ちを新たに、みなさんのもつ可能性が最大限に発揮されるよう全力でサポートすることをお約束して、式辞といたします。

卒業式式辞

平成 28 年 3 月 18 日

校長 森野 数博

春の息吹が感じられる今日の佳き日、改装したばかりのこの会場に多くのご来賓ならびに保護者のみなさまをお迎えして、ここに呉工業高等専門学校平成二十七年度の卒業式・修了式を挙げていくことは、本校教職員ならびに在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席のみなさま方に対し、心から御礼申し上げます。

ただいま、本科の課程を修めた卒業生百五十名、専攻科の課程を修めた修了生十名の若者が、本日この学び舎から、新しい道を求めて巣立っていくことになりました。彼らの新たな門出を迎え、これまで彼らを支え、励まし続けていただいた保護者のみなさま、関係者の方々のお力添えに対し、本校を代表して、改めてここに、感謝の意を表したいと存じます。

また、卒業生のなかには、モンゴルからの留学生オノン君がいます。母国に思いを馳せながら、勉学に励んだその向上心と努力に対し、敬意を表したいと思います。

卒業生、修了生のみなさん、卒業・修了、おめでとうございます。

みなさんは中学校卒業後、直ちに高等教育機関である本校に入学し、技術者教育を受ける道を選択されました。同世代の若者に先んじて専門的な学問に触れ、短期間で多くのことを学び、ものづくりの中核を担うべき人材を育成する高専での勉学は、かなり厳しかったのではないかと思います。それだけに、本日、無事にこの日を迎えられたみなさんの顔からは、大きな達成感と無事にやり終えた安堵感を感じています。ほんとうにおめでとうございます。

しかし、みなさんの人生はこれからが本番です。

本日の式次第のなかに、みなさんの進路先が記してあります。いずれも申し分のない就職先であり進学先ですが、これで人生が確約されたわけでは、もちろんありません。そこで何を考え、何をを行い、何を残すか、それがみなさんの生きざまになり、生きた証になります。

みなさんが本校に在学していた間、世界は急激に、そして大きく変化しました。中東を発信源として世界各地でテロや紛争が起り、多くの難民が安住の地を求めて移動し、そのことがユーロ圏の混乱に拍車をかけています。また、近隣諸国にも、さまざまな面において大きな変化が起っています。これら世界の動向が、以前とは比較にならないくらい、瞬時に、我が国に大きな影響を及ぼすようになりました。例えば、日経平均株価はこの 5 年間で 8000 円から 20000 円と実に 2.5 倍もの変動がありましたが、最近では、2 週間のうちに 3000 円も下落するなど、もはや自力だけでは舵が効かない状況にあるといえます。我が国を代表するシャープや東芝でさえ苦境に立たされていることは、みなさんもご存じのことでしょう。働き始めた 40 年前はおろか、わずか 10 年前でさえ、今の状況を誰が予測したでしょう。

このように、我が国を取り巻く世界情勢は刻一刻と変わりつつあります。このような状況が激しく変動する中でこれから生き抜かねばならないみなさんに、私から二つのことをお勧めしたいと思います。

ひとつは「挑戦」です。視野を拡げて世界を見据え、社会が何を求めようとしているか俯瞰すること。その上で、失敗を恐れずどんどん挑戦し、いろいろなことを経験していただきたい。過去と他人は変えられませんが、未来と自分は変えられます。「やる！」と覚悟を決めた者は、とても強いものです。

もうひとつは「地道な努力の積み重ねを」ということです。

土の中から発見した細菌により、難病であった熱帯地方の風土病撲滅に貢献し、ノーベル医学・生理学賞を受賞された大村 智先生は各地の土を集め続け、気が遠くなるほどの失敗を重ねた末、年間 2 億人あまりに投与される寄生虫薬を見つけ出したそうです。先生曰く、「チャンスは準備が整ったところにやってくる」 かいいた汗、流した涙はウソをつきません。

みなさんの人生は始まったばかりです。これから世の中がどの方向に向かって進んでいくか、視界は依然として不透明ですが、失敗を恐れず、夢に向かって挑戦していただきたい。そして、地道に努力を積み重ねていただきたい。幸せはなるものではなく、つかみ取るものなのです。

Realize Your Dream. 本校が掲げているキャッチフレーズです。「君の未来を共に創る」。みなさんが抱いているそれぞれの夢を、みなさんのもつ可能性が最大限に発揮されるよう、これまで私たちがサポートしてきましたが、これからはみなさんが、みなさん自身の可能性を信じ、自分自身で「自分の夢を実現」すべく、精進を続けていただきたい。そして、み

なさんには、みなさん自身の夢を実現するだけにとどまらず、「人々の夢を実現」することも大きな使命であると心していただきたいと思います。

本校が次の半世紀に向け、新たな歩みを始めた記念すべき年に巣立たれるみなさん、みなさんが己の可能性を信じ、これからも成長を続け、人類の未来に貢献されんことを願い、式辞といたします。

学内規則

○ 平成 27 年 4 月 6 日 一部改正

- 呉工業高等専門学校協働研究センター規則
- 呉工業高等専門学校広報室規則
- 呉工業高等専門学校国際交流室規則
- 呉工業高等専門学校事務部組織規則
- 呉工業高等専門学校協働研究センター委員会規則
- 呉工業高等専門学校知的財産委員会規則
- 呉工業高等専門学校事務部連絡会設置要項
- 呉工業高等専門学校広報室運営要項
- 呉工業高等専門学校遺伝子組換え安全管理規則
- 呉工業高等専門学校公開講座規則
- 呉工業高等専門学校公開講座実施要項
- 呉工業高等専門学校市民セミナー実施要項
- 呉工業高等専門学校マイクロバス運行要項
- 呉工業高等専門学校受託研究実施規則
- 呉工業高等専門学校教務規則

○ 平成 27 年 4 月 6 日 制定

- 呉工業高等専門学校における外部資金に係る間接経費等の取扱いについて

○ 平成 27 年 5 月 7 日 一部改正

- 呉工業高等専門学校自動車運転業務実施要領
- 呉工業高等専門学校マイクロバス運行要項

○ 平成 27 年 6 月 4 日 一部改正

- 呉工業高等専門学校における会計機関の事務の一部委任に関する規則

○ 平成 27 年 6 月 4 日 廃止

- 呉工業高等専門学校科学研究費補助金取扱規則
- 呉工業高等専門学校債権管理事務取扱規則

○ 平成 27 年 10 月 1 日 一部改正

- 呉工業高等専門学校文書処理規則
- 呉工業高等専門学校学生準則

○ 平成 27 年 11 月 11 日 一部改正

呉工業高等専門学校教員組織規則
役職教員及び学級担任等の選考方法について

- 平成 27 年 12 月 3 日 一部改正
役職教員及び学級担任等の選考方法について
呉工業高等専門学校教務委員会規則
呉工業高等専門学校入学者選抜委員会規則
呉工業高等専門学校 e-ラーニング推進室に係る申し合わせ
- 平成 27 年 12 月 3 日 制定
呉工業高等専門学校自己点検・評価規則
- 平成 27 年 12 月 3 日 廃止
呉工業高等専門学校教育研究活動等自己点検・評価実施規則
- 平成 28 年 1 月 7 日 一部改正
呉工業高等専門学校公開講座規則
呉工業高等専門学校公開講座実施要項
- 平成 28 年 2 月 5 日 一部改正
呉工業高等専門学校学則
呉工業高等専門学校入学者選抜委員会規則
呉工業高等専門学校学生準則
呉工業高等専門学校教務規則
呉工業高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規則
呉工業高等専門学校インターンシップの履修に関する規則
呉工業高等専門学校教務申合せ事項
呉工業高等専門学校学生表彰規則
呉工業高等専門学校学生表彰規則に基づく専攻科生の取扱について
- 平成 28 年 3 月 3 日 一部改正
呉工業高等専門学校協働研究センター規則
呉工業高等専門学校広報室規則
呉工業高等専門学校教職員相談室規則
呉工業高等専門学校事務部組織規則
呉工業高等専門学校予算計画部会規則
呉工業高等専門学校施設計画部会規則
呉工業高等専門学校教員会規則
呉工業高等専門学校協働研究センター委員会規則
呉工業高等専門学校防火対策委員会規則
呉工業高等専門学校放射線障害防止委員会規則
呉工業高等専門学校競争参加資格等審査委員会規則
呉工業高等専門学校総合評価審査委員会設置規則
呉工業高等専門学校知的財産委員会規則
呉工業高等専門学校事務部連絡会設置要項

呉工業高等専門学校建設コンサルタント選定委員会要項
呉工業高等専門学校後援会連携事業会議設置要項
呉工業高等専門学校広報室運営要項
呉工業高等専門学校役職教員及び学級担任等の選考方法について
呉工業高等専門学校教職員服務規則
呉工業高等専門学校情報セキュリティ管理規程
呉工業高等専門学校学生寮宿日直規則
呉工業高等専門学校公印規則
呉工業高等専門学校文書処理規則
呉工業高等専門学校自己点検・評価規則
呉工業高等専門学校遺伝子組換え安全管理規則
呉工業高等専門学校公開講座規則
呉工業高等専門学校個人情報管理規則
呉工業高等専門学校公用自動車運転業務実施要領
呉工業高等専門学校公開講座実施要項
呉工業高等専門学校名義使用に関する取扱要項
呉工業高等専門学校マイクロバス運行要項
呉工業高等専門学校名誉教授称号授与規則
呉工業高等専門学校ハラスメントの防止等に関する申合せ
呉工業高等専門学校懲戒等審査に関する申合せ
呉工業高等専門学校旧姓使用の取扱及び手続等について
呉工業高等専門学校旧姓使用関連事務について
呉工業高等専門学校会計機関の事務の一部委任に関する規則
呉工業高等専門学校会計機関の補助者等に関する規則
呉工業高等専門学校電子入札官職証明書規則
呉工業高等専門学校文部科学省電子入札システム運用規則
呉工業高等専門学校不動産管理規則
呉工業高等専門学校防火管理規則
呉工業高等専門学校放射線障害予防規則
呉工業高等専門学校技術相談取扱規則
呉工業高等専門学校外国人チューターに関する実施要項
呉工業高等専門学校学生寮給食事務取扱要領
呉工業高等専門学校学生会細則
呉工業高等専門学校学生の課外活動に係るマイクロバス使用申合せ

○ 平成 28 年 3 月 3 日 制定

呉工業高等専門学校文書管理規則
呉工業高等専門学校創立 50 周年記念基金規則

人事異動

(教 員)

発令年月日	異動後の職名等	氏 名	異動前の職名等
27. 4. 1	津山工業高等専門学校准教授	山田 祐士	呉工業高等専門学校准教授 (機械工学分野)
〃	呉工業高等専門学校教授 (採用) (機械工学分野)	高田 一貴	
〃	呉工業高等専門学校准教授 (採用) (建築学分野)	安 箱敏	
〃	呉工業高等専門学校助教 (採用) (環境都市工学分野)	木村 善一郎	
27. 9.30	辞職	川崎 由花	呉工業高等専門学校准教授 (人文社会系分野)
〃	〃	北村 光一	呉工業高等専門学校准教授 (自然科学系分野)
28. 3.31	定年退職	西宮 善幸	呉工業高等専門学校教授 (建築学分野)

(職 員)

発令年月日	異動後の職名等	氏 名	異動前の職名等
27.4.1	熊本高等専門学校事務部長	愛場 優治	事務部長
〃	山口大学総務部人事課長	梅田 則好	学生課長
〃	広島大学財務・総務室施設企画グループ副グループリーダー	池口 和敏	総務課会計室長
〃	広島大学財務・総務室施設管理グループ主査 (広島地区機械設備主担当)	木村 秀政	総務課会計室施設係長
〃	総務省情報通信国際戦略局情報通信政策課	立川 泰裕	総務課庶務室人事係員
〃	事務部長	吉田 元重	滋賀大学総務課長
〃	学生課長	村岡 昌良	広島商船高等専門学校学生課課長補佐
〃	総務課企画広報室長	川西 健二	学生課学生支援室長
〃	総務課企画広報室企画係長	白井 康子	総務課庶務室企画係長
〃	総務課会計室施設係長	飯田 泰隆	広島大学財務・総務室施設計画グループ員 (主任)
〃	学生課教務係教務主任	近藤 教文	総務課庶務室総務係総務主任

〃	総務課庶務室総務係員	大江 勇人	学生課教務係員
〃	総務課庶務室人事係員 (採用)	重信 莉星	
〃	総務課企画広報室企画係員	前城 亜由美	総務課庶務室企画係員
〃	総務課会計室用度係員	井本 希	総務課庶務室企画係員
〃	学生課教務係員	金久 智彦	広島大学学術・社会産学連携室社会 連携グループ員
〃	学生課学生係員	松崎 秀幸	学生課学術情報係員
〃	技術センター技術職員 (採用)	生田 悠介	
27.7.1	学生課学生係学生主任 (昇任)	松崎 秀幸	学生課学生係員
〃	総務課会計室財務係財務主任	甲田 啓	総務課会計室用度係用度主任
〃	総務課企画広報室企画係員	笹原 純平	総務課会計室財務係員
〃	総務課会計室用度係員	前城 亜由美	総務課企画広報室企画係員
27.10.1	広島商船高等専門学校学生課 教務係主任	松崎 秀幸	学生課学生係学生主任
〃	学生課教務係員	和根山 遥	総務課会計室財務係員
〃	学生課学生係員	内海 透	学生課教務係員
28.1.1	学生課教務係員	小道 健太郎	学生課学生係員
〃	学生課学生係員	木村 奈央	学生課教務係員
28.2.1	総務課会計室施設係技術補佐員 (有期雇用職員)	船守 強	
28.3.31	辞職	篠崎 律子	学生課看護師

諸 報

○ 平成 27 年度入学式

4 月 5 日 (日) 午前 9 時 30 分から本校第一体育館において来賓及び保護者ご臨席のもと、平成 27 年度本科及び専攻科

の入学式が厳粛に挙行された。

校長から入学許可宣言があり、広島大学大学院工学研究院長、呉市議会副議長及び後援会会長からご祝辞をいただいた。
なお、入学者の学科（専攻）別内訳は次のとおりである。

学科（専攻）名		入学者数	編入学者数	
			第 3 学年 (外国人留学生)	第 4 学年
本 科	機 械 工 学 科	38 (5)	1 (0)	0 (0)
	電 気 情 報 工 学 科	45 (4)	1 (1)	1 (0)
	環 境 都 市 工 学 科	41 (9)	0 (0)	0 (0)
	建 築 学 科	44 (15)	1 (0)	0 (0)
	計	168 (33)	3 (1)	1 (0)
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	15 (0)	/	
	建 設 工 学 専 攻	11 (2)		
	計	26 (2)		

注) () 内の数字は、内数で女子を示す。

○ 平成 27 年度卒業式及び専攻科修了式

3 月 18 日（金）午前 10 時から本校第一体育館において、来賓及び保護者のご臨席のもと、第 48 回卒業式及び第 19 回専攻科修了式が盛大に挙行された。

卒業生及び専攻科修了生は、校長から卒業証書又は修了証書を授与され、JABEE 認定技術者教育プログラム修了者には同修了証書が授与された。

広島大学大学院工学研究院長、呉市企画部参事及び後援会会長からご祝辞を、また、国立高等専門学校機構理事長をはじめとする各方面からの多数のご祝電等をいただき、来賓、保護者、教職員及び在学生の祝福と激励を受けて呉工業高等専門学校を巣立っていった。

なお、卒業生及び専攻科修了生の学科（専攻）別内訳は次のとおりである。

学科（専攻）別		卒業（修了）者数
本 科	機 械 工 学 科	39 (2)
	電 気 情 報 工 学 科	40 (2)
	環 境 都 市 工 学 科	37 (7)
	建 築 学 科	34 (10)
	計	150 (21)
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	6 (0)
	建 設 工 学 専 攻	4 (2)
	計	10 (2)

注) () 内の数字は、内数で女子を示す。

また、学業成績優秀者及び学会表彰等の褒章を次の者に授与した。

<独立行政法人国立高等専門学校機構学生表彰 理事長特別表彰>

機械工学科 田中 真美

<学業成績優秀者>

学業成績 優 秀 者	機 械 工 学 科	西村 介
	電 気 情 報 工 学 科	笠原 慎平
	環 境 都 市 工 学 科	中曾 萌
	建 築 学 科	小川 俊樹
	機 械 電 気 工 学 専 攻	北林 智
	建 設 工 学 専 攻	西岡 恵里奈

<学会賞>

日 本 機 械 学 会 畠 山 賞	機 械 工 学 科	青野 晃
電 気 ・ 情 報 関 連 学 会 中 国 支 部 長 賞	電 気 情 報 工 学 科	竹寄 幸之助
全 国 高 専 土 木 工 学 会 近 藤 賞	環 境 都 市 工 学 科	八木 香澄
日 本 建 築 学 会 中 国 支 部 生 優 秀 卒 業 生	建 築 学 科	伊達 千尋

<特別賞>

第 138 回日商簿記検定試験 1 級合格 (全国第 1 位)

機械工学科 田中 真美

○ 平成 27 年度 役職員一覧

(平成 27 年 10 月 1 日)

役	職	氏 名
校	長	森野 敦博
副	校 長	黒木 太司
事	務 部 長	吉田 元重
教 務 主 事 (校 長 補 佐)		篠部 裕
教 務 主 事 補		富村 憲貴
		林 和彦
		藤井 敏則
		山岡 俊一
学 生 主 事 (校 長 補 佐)		西坂 強
学 生 主 事 補		田中 慎一
		平松 直哉
		黒川 岳司
		上寺 哲也
寮 務 主 事 (校 長 補 佐)		木原 滋哉
寮 務 主 事 補		佐賀野 健
		山田 宏
		井上 浩孝
		谷川 大輔
		泉 洋輔
		蒲地 祐子
専 攻 科 長		岩本 英久

専攻科長補	川勝 望
	吉川 祐樹
	山崎 勉
	河村 進一
	下倉 玲子
人文社会系分野代表	宇根 俊範
自然科学系分野代表	森 貞雄
機械工学分野代表	尾川 茂
電気情報工学分野代表	田中 誠
環境都市工学分野代表	森脇 武夫
建築学分野代表	間瀬 実郎
教養教育主任	森 貞雄
機械工学科教育主任	野村 高広
電気情報工学科教育主任	横瀬 義雄
環境都市工学科教育主任	加納 誠二
建築学科教育主任	松野 一成
教育センター長	篠部 裕
教育センター基盤部門長 兼 図書館長	笠井 聖二
教育センター総合教育推進部門長	林 和彦
協働研究センター長	山脇 正雄
技術センター長	山脇 正雄
広報室長	間瀬 実郎
学生相談室長	宇根 俊範
国際交流室長	尾川 茂
男女共同参画推進室長	松野 一成

○ 平成 27 年度学級担任及び副担任一覧

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年
機械工学科	影山 優 野村 高広	市崎 一章	丸山 啓史	中迫 正一	深澤 謙次
電気情報工学科	外谷 昭洋 笠井 聖二	平野 旭	田中 誠	横沼 実雄	板東 能生
環境都市工学科	三村 陽一 上芝 令子	外村 彰	堀口 至	及川 栄作	重松 尚久
建築学科	上杉 裕子 西宮 善幸	赤池 祐次	岩城 考信	仁保 裕	大和 義昭

○ 平成 27 年度顧問教員一覧

文 化 部	写真部	篠部 裕
	計算機部	藤井敏則
	文芸部	外村 彰 上芝令子
	国際交流部	上杉裕子
	茶華道部	下倉玲子

	美術部	西宮善幸			
	軽音楽部	山田 宏			
	吹奏楽部	宇根俊範	赤池祐次	富村憲貴	
	無線部	田中 誠			
	自動車部	野村高広	尾川 茂		
	理化学研究部	森 貞雄	田中慎一		
	建築デザイン研究部	間瀬実郎			
	フォークソング部	深澤謙次			
	映画部	富村憲貴			
	演劇部	上芝令子			
体 育 部	硬式野球部	上寺哲也 (高専) 黒川岳司 (高野連)	影山 優 外村 彰	山岡俊一 平松直哉	木村善一郎
	ソフトテニス部	井上浩孝	横沼実雄	谷川大輔	安 箱敏
	卓球部	笠井聖二	川崎由花	森 貞雄	
	バスケットボール部	及川栄作 (男子)	岩城考信		
		市崎一章 (女子)	重松尚久		
	バレー部	吉川祐樹 (男子)	佐賀野健		
		外谷昭洋 (女子)	泉 洋輔		
	陸上競技部	板東能生	横瀬義雄	田中慎一	仁保 裕
	柔道部	平野 旭	黒木太司	山田 宏	
	剣道部	加納誠二	北村光一	國安美子	
	リッジ・フォークル・スキー部	佐賀野健	重松尚久		
	サッカー部	西坂 強	森脇武夫	岩本英久	丸山啓史
	水泳部	堀口 至	中迫正一		
	アーチェリー部	松野一成	深澤謙次		
	ハンドボール部	河村進一	蒲地祐子		
	テニス部	林 和彦	川勝 望	高田一貴	
	ラグビー部	三村陽一	山脇正雄	木原滋哉	間瀬実郎
	空手道部	深澤謙次			
	ソフトボール部	山崎 勉	赤池祐次		
	バドミントン部	大和義昭	上杉裕子	田中 誠	
ダンス部	下倉玲子				

同 好 会	将棋同好会	横沼実雄	軟式野球同好会	泉 洋輔
	ピアノ同好会	宇根俊範	筋トレ同好会	谷川大輔
	アカペラ同好会	蒲地祐子	機械機構同好会	山田 宏
	書道同好会	篠部 裕	ボウリング同好会	重松尚久
そ の 他	フットサル同好会	松野一成		
	人権問題研究会	西坂 強		
	インターアクトクラブ	光井周平	山岡俊一	
	ロボット製作クラブ	尾川 茂	野村高広	

○ 公開講座

番 号	講 座 の 名 称	日 時	受講対象者	講 師	受講者数
1	エジソン・スクール第1回	5/30(土)	中学生以上	横沼 実雄	19
2	環境都市シリーズ第1回 ペーパークラフトで学ぶ橋のしくみ	6/6(土)	小学生以上	河村 進一	11
3	エジソン・スクール第2回	6/27(土)	中学生以上	横沼 実雄	23
4	太宰治の短編「燈籠」「眉山」を読む	7/4(土)	一般(15才以上)	外村 彰	12
5	ブラックホールについて学んでみよう!	7/11(土)	中学生以上	川勝 望	16
6	模型で考える地震に強い建物のしくみ	7/11(土)	小学生(高学年)、中学生	光井 周平	7
7	海外旅行で役立つ英語~これだけは知っておきたい~	7/18(土)	中学生以上	上杉 裕子	17
8	エジソン・スクール第3回	7/25(土)	中学生以上	横沼 実雄	16
9	環境都市シリーズ第2回 水の科学・流れの科学~水のおもしろ理科研究~	7/26(日)	小学4年生以上	黒川 岳司	20
10	90分で完成!ハイテクで作る千羽鶴—被災70周年—	8/1(土)	一般	下倉玲子、間瀬 実郎	11
11	3次元CADに挑戦して、3Dプリンタを使って作ってみよう。	8/20(木)、21(金)	中学生	山脇 正雄	11
12	エジソン・スクール第4回	8/22(土)	中学生以上	横沼 実雄	39
13	環境都市シリーズ第3回 コンクリート等を作ってみよう!	8/22(土)、8/23(日)	小学5年生以上	三村 陽一	7
14	魚ロボットを作って泳がそう	8/25(火)	小学校高学年以上	野村 高広	16
15	環境都市シリーズ第4回 水をキレイにする微生物を見てみよう	8/29(土)	小学5年生以上	谷川 大輔	11
16	環境都市シリーズ第5回 カラフルなオリジナルペーパーウエイトを作ってみよう!	9/5(土)、9/6(日)	小学5年生以上	堀口 至	11
17	3 D C A D 基本操作の習得セミナー	9/5(土)、9/12(土)	地域企業技術者	山脇 正雄	3
18	環境都市シリーズ第6回 生命の仕組みを知る:DNAを取り出して見よう!	9/12(土)	小学5年生以上	及川 栄作	5
19	子ども向けプログラム言語「SCRATCH」を使ってプログラミングを楽しもう!	9/26(土)	小学生以上	井上 浩孝	19
20	エジソン・スクール第5回	9/26(土)	中学生以上	横沼 実雄	23
21	エジソン・スクール第6回	10/24(土)	中学生以上	横沼 実雄	11
22	環境都市シリーズ第7回 土の科学・地盤の科学~土のタワーコンテスト~	11/7(土)	小学5年生以上	森脇 武夫	7
23	環境都市シリーズ第8回 アンケート調査入門—調査票の設計から簡単なデータ整理まで—	11/14(土)	小学5年生以上	山岡 俊一	11
24	エジソン・スクール第7回	11/28(土)	中学生以上	横沼 実雄	24
25	環境都市シリーズ第9回 土のふしぎ	12/12(土)	小学5年生以上	重松 尚久	5
26	エジソン・スクール第8回	12/12(土)	中学生以上	横沼 実雄	17
27	エコエネルギー工作教室	12/23(水)	中学生以上	横沼 実雄	17
28	英語で詩を味わおう~アメリカ女性詩人ディキンソンとプラスを中心に~	2/27(土)	中学生以上	上杉 裕子	7
29	3Dプリンタでキーホルダーを作ってみよう!!	2/6(土)	小・中学生	山脇 正雄	18
30	防災工学 全10回	5/16(土)~翌2/20(土)全10回	中学生以上	加納 誠二	550 (延べ人数)

○ 出前授業

番号	開催日	相手先	学 年	題 名	講 師
1	6月22日	呉市立明徳中学校	中学2年	簡単なロボットの制作	野村 高広
2	6月25日	広島市立安西中学校	中学3年	マイコン入門	田中 誠
3	6月30日	呉市立倉橋中学校	中学2年	簡単なロボットの制作	野村 高広
4	6月30日	呉市立倉橋中学校	中学2年	簡単なロボットの制作	野村 高広
5	7月22日	呉市立倉橋小学校	小学5・6年	ひかりの不思議	平野 旭
6	8月5日	呉市立小学校教育 研究会理科部会	小学校教員	溶けるってどういうこと ～水溶液の性質～	板東 能生
7	8月5日	呉市立小学校教育 研究会理科部会	小学校教員	溶けるってどういうこと ～水溶液の性質～	板東 能生
8	8月5日	呉市立小学校教育 研究会理科部会	小学校教員	溶けるってどういうこと ～水溶液の性質～	板東 能生
9	8月17日	熊野町民会館	小学4～6年	簡単なロボットの制作	野村 高広
10	8月26日	呉市立仁方中学校	中学3年	エネルギー変換工学	横沼 実雄
11	9月11日	呉市立昭路北小学校	小学6年	溶けるってどういうこと ～水溶液の性質～	板東 能生
12	9月11日	呉市立昭路北小学校	小学6年	溶けるってどういうこと ～水溶液の性質～	板東 能生
13	9月11日	安芸高田市立可愛小学校	小学4年	川のお話・水資源のお話	黒川 岳司
14	9月17日	呉市立昭路北小学校	小学6年	溶けるってどういうこと ～水溶液の性質～	板東 能生
15	9月17日	呉市立昭路北小学校	小学6年	溶けるってどういうこと ～水溶液の性質～	板東 能生
16	10月6日	広島市立黄金山小学校	小学3年	ひかりの不思議	黒木 太司
17	10月14日	広島市立黄金山小学校	小学6年	圧力のはなし	黒木 太司
18	11月6日	広島市立早稲田中学校	中学2年	チョークをねじるとなぜ45°で壊れるの？	森野 数博
19	11月9日	呉市立明徳中学校	中学3年	マイコン入門	田中 誠
20	11月9日	呉市立明徳中学校	中学3年	マイコン入門	田中 誠
21	11月23日	くれ市民協働センター	小学生	ものづくり体験イベント	外谷 昭洋
22	2月9日	竹原市立吉名中学校	中学3年	情報通信のしくみ	黒木 太司
23	2月26日	広島市立井原小学校	小学5・6年	「環境のお話」現在の地球環境について 発展途上国の水の浄化について	谷川 大輔

○ 大和ミュージアム連携イベント

番号	開催日	相手先	学 年	題 名	講 師
1	7月11日	大和ミュージアム	小学生	呉高専生によるサイエンスショー	外谷 昭洋
2	9月21日	大和ミュージアム	小学生	力の働き～セーリングカー工作～	横沼 実雄 平野 旭
3	10月12日	大和ミュージアム	小学生	ペーパードームを作ろう	篠部 裕
4	12月19日	宇宙少年団呉やまと分団	小学生、保護者	天の川に潜むブラックホールのお話	川勝 望
5	2月11日	大和ミュージアム	小学生	簡単なロボット製作	野村 高広

○ 共同研究

件 数 20件

金 額 10,652 (千円)

○ 受託研究

件 数 3 件

金 額 2,713 (千円)

○ 科研費 (研究者代表分)

1. 研究種目 基盤研究 (C) 継続
研究代表者 建築学分野 篠部 裕
研究課題 空き家の適正管理条例と解体除去事業に関する調査研究
2. 研究種目 基盤研究 (C) 継続
研究代表者 環境都市工学分野 重松 尚久
研究課題 端面掘削方式による掘削効率を飛躍的に向上できる無人化施工技術の開発
3. 研究種目 基盤研究 (C) 継続
研究代表者 建築学分野 大和 義昭
研究課題 日本の住宅における温熱環境評価のための新しい着衣熱抵抗の測定方法の検討
4. 研究種目 若手研究 (B) 継続
研究代表者 自然科学系分野 川勝 望
研究課題 活動銀河核ジェット残骸の多波長スペクトルから迫る無衝突衝撃波の物理
5. 研究種目 若手研究 (B) 継続
研究代表者 建築学分野 岩城 考信
研究課題 タイ・バンコクにおける洪水対策の変遷に関する研究
6. 研究種目 挑戦的萌芽研究 継続
研究代表者 電気情報工学分野 外谷 昭洋
研究課題 電気系複合シュミレータの開発と教育への適用
7. 研究種目 若手研究 (A) 新規
研究代表者 自然科学系分野 田中 慎一
研究課題 癌転移機構解明に向けた近赤外発光・電顕併用白金ナノプローブと生体ナノ計測法の開発
8. 研究種目 基盤研究 (C) 新規
研究代表者 電気情報工学分野 黒木 太司
研究課題 テラヘルツ帯集積化高安定発振器の基礎研究
9. 研究種目 基盤研究 (C) 新規
研究代表者 環境都市工学分野 堀口 至
研究課題 高い保水性性能と力学特性を有するハイブリッドポーラスコンクリートの開発
10. 研究種目 基盤研究 (C) 新規
研究代表者 環境都市工学分野 加納 誠二
研究課題 バイオスティミュレーションを利用した地盤改良工法の研究

11. 研究種目 基盤研究 (C) 新規
研究代表者 建築学分野 下倉 玲子
研究課題 スウェーデンのインデペンデント・スクールに学ぶ学校オープンスペース個別学習空間化
12. 研究種目 若手研究 (B) 新規
研究代表者 自然科学系分野 平松 直哉
研究課題 退化によるコーエン・マコーレー加群の研究と表現型理論への応用
13. 研究種目 挑戦的萌芽研究 新規
研究代表者 自然科学系分野 笠井 聖二
研究課題 増幅型液体アルゴン検出器検討のための基礎的研究
14. 研究種目 挑戦的萌芽研究 新規
研究代表者 機械工学分野 岩本 英久
研究課題 運針術習得システムの開発

○ フォーラム等

1. 2015NEW 環境展
期 日 平成 27 年 5 月 26 日 (火) ～29 日 (金)
場 所 東京ビッグサイト
出展者 環境都市工学分野 谷川 大輔
2. 第 2 回 次世代ものづくり技術セミナー
期 日 平成 27 年 9 月 11 日 (金)
場 所 呉工業高等専門学校
3. くれエコフェスタ 2015
期 日 平成 27 年 9 月 26 日 (土)
場 所 呉ポートピアパーク
出展者 建築学分野 大和 義昭

○ 海外との交流

1. ローラシアン協会受入
期 日 平成 27 年 6 月 15 日 (月) ～6 月 22 日 (月)
受 入 先 Glendale Union High School
受入学生数 5 名
2. 大連大学学術交流
期 日 平成 27 年 9 月 9 日 (水) ～9 月 18 日 (金)
研 修 先 中国・大連大学
引率教員 電気情報工学分野 井上 浩孝, 建築学分野 安 箱敏
参加者数 2 名
3. 特別見学旅行 (環境都市工学科 4 年・建築学科 4 年)

期 日 平成 27 年 10 月 12 日 (月) ～10 月 15 日 (木) (環境都市工学科)
平成 27 年 10 月 13 日 (火) ～10 月 16 日 (金) (建築学科)

研 修 先 台湾 (台北)

引率教員 環境都市工学分野 及川 栄作, 国際交流室 加納 誠二
建築学分野 仁保 裕, 国際交流室 光井 周平

参加者数 26 名 (環境都市工学科), 33 名 (建築学科)

4. ラドフォード高校短期交換留学プログラム

期 日 平成 28 年 2 月 27 日 (土) ～3 月 8 日 (火)

研 修 先 オーストラリア・ラドフォード高校

引率教員 環境都市工学分野 加納 誠二

参加者数 16 名

○ 研修・研究集会・フォーラム等

1. 平成 27 年度独立行政法人国立高等専門学校機構初任職員研修会

期 日 平成 27 年 4 月 15 日 (水) ～17 日 (金)

会 場 学術総合センター

参加者 重信 莉星, 生田 悠介

2. 平成 27 年度独立行政法人国立高等専門学校機構新任課長研修会

期 日 平成 27 年 4 月 20 日 (月) ～21 日 (火)

会 場 学術総合センター

参加者 村岡 昌良

3. 平成 27 年度独立行政法人国立高等専門学校機構新任教員研修会

期 日 平成 27 年 4 月 27 日 (月) ～28 日 (火)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者 高田 一貴, 安 箱敏, 木村 善一郎

4. 平成 27 年度情報公開・個人情報保護制度の運用に関する研修会

期 日 平成 27 年 5 月 22 日 (金)

会 場 広島合同庁舎

参加者 大江 勇人

5. 平成 27 年度服務制度等説明会及び勤務時間・休暇制度説明会

期 日 平成 27 年 6 月 18 日 (木) ～19 日 (金)

会 場 広島合同庁舎

参加者 大江 勇人, 重信 莉星

6. 平成 27 年度独立行政法人国立高等専門学校機構新任部長研修会

期 日 平成 27 年 7 月 2 日 (木) ～3 日 (金)

会 場 学術総合センター

参加者 吉田 元重

7. 平成 27 年度高等専門学校教員研修 (管理職研修)

- 期 日 平成 27 年 7 月 2 日 (木) ~3 日 (金)
会 場 学術総合センター
参加者 加納 誠二
8. 平成 27 年度給与実務初任者等研修会
期 日 平成 27 年 7 月 15 日 (水) ~16 日 (木)
会 場 広島合同庁舎
参加者 重信 莉星
9. 平成 27 年度独立行政法人国立高等専門学校機構新任係長研修会
期 日 平成 27 年 7 月 27 日 (月) ~29 日 (水)
会 場 学術総合センター
参加者 濱崎 優子
10. 平成 27 年度中国地区高等専門学校技術職員研修
期 日 平成 27 年 8 月 24 日 (月) ~25 日 (火)
会 場 米子工業高等専門学校
参加者 加藤 省二
11. 平成 27 年度中国地区高等専門学校技術支援組織長会議
期 日 平成 27 年 8 月 24 日 (月) ~25 日 (火)
会 場 米子工業高等専門学校
参加者 山脇 正雄
12. 平成 27 年度中国地区高等専門学校技術長会議
期 日 平成 27 年 8 月 24 日 (月) ~25 日 (火)
会 場 米子工業高等専門学校
参加者 佐々木 智大
13. 平成 27 年度独立行政法人国立高等専門学校機構中堅教員研修会
期 日 平成 27 年 8 月 25 日 (火) ~26 日 (水)
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
参加者 下倉 玲子, 平松 直哉
14. 平成 27 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修
期 日 平成 27 年 9 月 2 日 (水) ~4 日 (金)
会 場 愛媛大学
参加者 牛坂 淳二
15. 平成 27 年度人事事務担当者説明会 (係長)
期 日 平成 27 年 9 月 14 日 (月) ~15 日 (火)
会 場 学術総合センター
参加者 岩見 健司
16. 平成 27 年度独立行政法人国立高等専門学校機構中堅職員研修会

期 日 平成 27 年 10 月 26 日 (月) ～28 日 (水)

会 場 学術総合センター

参加者 笹原 純平

17. 平成 27 年度中国・四国地区国立大学法人等施設系技術職員研修会

期 日 平成 27 年 10 月 28 日 (水) ～30 日 (金)

会 場 島根大学

参加者 飯田 泰隆

18. 第 11 回全国国立高等専門学校メンタルヘルス研究集会

期 日 平成 27 年 11 月 5 日 (木) ～6 日 (金)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者 宇根 俊範

19. 平成 27 年度独立行政法人国立高等専門学校機構情報担当者研修会

期 日 平成 27 年 11 月 16 日 (月) ～18 日 (水)

会 場 学術総合センター

参加者 笠井 聖二, 横瀬 義雄, 佐々木 智大

20. 平成 27 年度ハラスメント防止講演会

期 日 平成 27 年 12 月 2 日 (水)

会 場 広島合同庁舎

参加者 岩見 健司

21. 平成 27 年度情報系教員対象情報セキュリティ講習会

期 日 平成 27 年 12 月 8 日 (火) ～12 月 10 日 (木)

会 場 ヒートウェーブ新宿校

参加者 井上 浩孝

22. ハラスメント防止講習会

期 日 平成 27 年 12 月 16 日 (水)

場 所 第一会議室

講 師 広島大学ハラスメント相談室長 横山 美栄子

演 題 キャンパスハラスメントの防止について

対 象 教職員

23. アクティブラーニングトレーナー教員研修会

期 日 平成 27 年 12 月 17 日 (木) ～12 月 18 日 (金)

会 場 岡山コンベンションセンター

参加者 篠部 裕, 山岡 俊一

24. 平成 27 年度情報セキュリティ講習会

期 日 平成 28 年 1 月 8 日 (金) ～1 月 9 日 (土)

会 場 株式会社ウチダ人材開発センタ

参加者 仁保 裕

25. 平成 27 年度国立高専機構英語教育高度化推進のための「英語科目担当教員向け英語教授力向上研修」

期 日 平成 28 年 1 月 18 日 (月) ～19 日 (火), 3 月 7 日 (月) ～8 日 (火)

会 場 ブリティッシュ・カウンシル

参加者 上杉 裕子

26. 平成 27 年度安全衛生に関する講習会

期 日 平成 28 年 2 月 3 日 (火)

場 所 第一会議室

講 師 広島大学保健管理センター 吉原 正治

対 象 教職員

27. 平成 27 年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員代表者会議

期 日 平成 28 年 3 月 1 日 (火)

会 場 愛媛大学

参加者 佐々木 智大

28. 2015 年度教育ネットワーク中国第 6 回研修会 (FD)

期 日 平成 28 年 3 月 2 日 (水)

会 場 広島国際大学

参加者 山岡 俊一

29. 平成 27 年度 CTT+ホルダ研修

期 日 平成 28 年 3 月 3 日 (木) ～4 日 (金)

会 場 株式会社 BizCom

参加者 吉川 祐樹

30. 平成 27 年度インストラクショナルデザイン研修

期 日 平成 28 年 3 月 9 日 (水) ～10 日 (木)

会 場 岡山コンベンションセンター

参加者 笠井 聖二

31. 平成 27 年度中国地区国立高等専門学校教員研修 (概ね着任 5 年程度)

期 日 平成 28 年 3 月 10 日 (木) ～11 日 (金)

会 場 広島商船高等専門学校

参加者 市崎 一章, 影山 優, 平松 直哉

○ 表彰

1. 安全標語の表彰

期 日 平成 27 年 7 月 8 日 (水)

場 所 校長室

表彰者 学生 3 名

東 諒汰, 木村 祐也, 浜崎 滉平

2. 永年勤続者表彰

期 日 平成 27 年 11 月 16 日 (月)

場 所 校長室

氏 名 横沼 実雄, 加納 誠二

(独立行政法人国立高等専門学校機構教職員表彰規則に基づき平成 27 年 11 月 23 日付けで表彰)

3. 平成 27 年度校長表彰

期 日 平成 27 年 12 月 3 日 (木)

場 所 校長室

氏 名 森脇 武夫, 加納 誠二

(呉高専校長表彰規則に基づく表彰)

○ 学校行事

1. 第 63 回寮生指導者研修会

期 日 平成 27 年 4 月 18 日 (土) 13 時～16 時

場 所 呉工業高等専門学校 視聴覚教室

参加者 37 名 (寮生会役員及びライフマスター:29 名, 教職員:8 名)

2. 第 11 回呉高専文化行事 落語鑑賞会

本校では、普段なかなか触れることのできない芸術の鑑賞や、各界で活躍する著名人の講演などを行っている。今年度は笑点でも有名な「三遊亭 小遊三」師匠をお招きし、単なる娯楽としてだけではなく、一流の日本文化に触れることで学生の創造性、道徳的な意識や価値観を養うことを目的として、落語鑑賞会を行った。

期 日 平成 27 年 6 月 11 日 (木)

場 所 呉市文化ホール

鑑賞者 全学生, 教職員, 保護者, 一般市民

3. 第 97 回全国高等学校野球選手権大会広島大会

期 日 平成 27 年 7 月 11 日 (土)

呉高専 4-7 宮島工業

4. 第 50 回全国高等専門学校体育大会

期 日 平成 27 年 8 月 14 日 (金) ～8 月 30 日 (日)

会 場 九州・沖縄地区高専及びその周辺の競技会場

主 管 沖縄工業高等専門学校

陸上競技

【男子】	100m	予選 7 位	E5	古田 優希
	200m	予選 6 位	E5	古田 優希
	1500m	予選 8 位	E5	村本 瞭真
	1500m	予選 13 位	C3	奈古 淳平
	5000m	決勝 23 位	M3	小川 黎真
	走高跳	決勝 6 位	M5	中村 和真
	走幅跳	決勝 25 位	C4	小川 大貴
	三段跳	決勝 26 位	C4	小川 大貴
	砲丸投	決勝 20 位	C5	山中 勇人
	円盤投	決勝 14 位	E4	栗栖 裕紀

円盤投	決勝 26 位	C5	山中 勇人
<u>ソフトテニス</u>			
【女子】	ダブルス	優勝	A4 矢野 明日香 A4 矢野 遥香
	ダブルス	初戦敗退	A3 野間 萌 C2 山本 桃加
<u>テニス</u>			
【男子】	団体	初戦敗退	
<u>剣道</u>			
【男子】	個人	2 回戦敗退	C3 椎井 努
<u>バドミントン</u>			
【男子】	シングルス	2 回戦敗退	A5 溝手 守
	シングルス	2 回戦敗退	E4 山口 啓太

5. 第 24 回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会

期 日 平成 27 年 8 月 20 日 (木) ~ 8 月 21 日 (金)

会 場 しあわせの村アーチェリー場 (神戸)

主 管 大阪府立大学工業高等専門学校

【男子】	団体	準優勝	
	個人 30m ダブル	優勝	M1 河西 哲平
	個人 30m・50m	3 位	M4 守本 一心
【女子】	個人 30m・50m	3 位	M2 葉名 弥生

6. 全国高等専門学校デザインコンペティション 2015AM デザイン (3D プリンタ) 部門 (夏大会)

期 日 平成 27 年 8 月 26 日 (金)

会 場 東北大学川内キャンパス

主 管 八戸工業高等専門学校, 仙台高等専門学校

成 績 呉高専 (作品名: エアーインスツルメント) 入賞なし

7. アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2015

中国地区大会日程: 平成 27 年 10 月 10 日 (土) ~ 11 日 (日)

会場: 呉市総合体育館 (オークアリーナ)

主管: 呉工業高等専門学校

成績: A チーム 「Infinity¹」 「技術賞」受賞, 全国大会出場

B チーム 「降輪! なげわ君」: 特別賞 (マブチモーター株式会社) 受賞

全国大会 期日: 平成 27 年 11 月 22 日 (日)

会場: 両国国技館

成績: 「Infinity¹」 初戦敗退, 受賞なし

8. 全国高等専門学校第 26 回プログラミングコンテスト

期 日 平成 27 年 10 月 11 日 (土) ~ 12 日 (日)

会 場 ホクト文化ホール

主 管 長野工業高等専門学校

成 績 競技部門 入賞なし

9. 第 11 回ステップキャンパス

高専における学生生活が中だるみに陥りがちな第 3 学年の学生を対象に, 自然環境のなかでさまざま

まな野外活動を満喫し、気分を一新し、併せて対話の機会を持ち、お互いに連帯感を深め、有意義な学生生活を送る契機になることを目的としてステップキャンパスを次のとおり実施した。

期 日 平成 27 年 10 月 15 日 (木) ~16 日 (金)

場 所 野呂山及び呉工業高等専門学校

参加者 学生第 3 学年 174 名 (男子 149 名, 女子 25 名)

教職員 西坂 強, 平松 直哉, 田中 慎一, 上寺 哲也, 黒川 岳司,
丸山 啓史, 田中 誠, 堀口 至, 岩城 考信, 濱崎 優子, 内海 透
外部協力者 中村 大介

10. 第 64 回寮生指導者研修会

期 日 平成 27 年 10 月 19 日 (月) 9 時~16 時

場 所 グリーンピアせとうち

参加者 37 名 (寮生会役員及びライフマスター:30 名, 教職員:7 名)

11. 第 51 回高専祭

期 日 平成 27 年 10 月 30 日 (金) ~11 月 2 日 (月)

テーマ 「Do you do 青春？」

催し物 学科展示, クラブ展示, 演奏会, ライブ, ダンスパーティ, 映画会, 模擬店 等

12. 第 31 回中国地区高等専門学校英語弁論大会

期 日 平成 27 年 11 月 13 日 (金) ~14 日 (土)

会 場 津山商工会議所

主 管 津山工業高等専門学校

成 績 スピーチ部門 A2 井上 咲 2 位, 全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト出場
暗唱部門 A2 田中 瑞希 3 位

13. 第 51 回中国地区高等専門学校体育大会 (冬季大会)

期 日 平成 27 年 11 月 13 日 (金) ~15 日 (日)

会 場 山口きらら博記念公園

主 管 宇部工業高等専門学校

種 目 ラグビーフットボール

成 績 A パート 2 回戦敗退

14. 全国高等専門学校デザインコンペティション 2015in 紀の国わかやま

期 日 平成 27 年 11 月 14 日 (土) ~15 日 (日)

会 場 和歌山県民文化会館

主 管 和歌山工業高等専門学校

成 績 構造デザイン部門 5 位入賞
空間デザイン部門 入賞なし
AM デザイン部門 優秀賞 (3 位)

15. 第 47 回スポーツリーダーズセミナー

健全で明朗な学生生活を維持するうえで重要なスポーツ活動をより一層活発にするため、運動部の指導者を対象として、スポーツリーダーズセミナーを次のとおり実施した。

期 日 平成 27 年 12 月 17 日 (木)

場 所 呉工業高等専門学校 静心館第2研修室, 第2体育館
 参加者 学生運動部 40 名, 保健体育委員 2 名
 教職員 西坂 強, 平松 直哉, 内海 透
 講 師 高橋 大輔 (ケアウイング)

16. 第9回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

期 日 平成 28 年 1 月 23 日 (土) ~ 24 日 (日)
 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 主 管 鹿児島工業高等専門学校
 成 績 スピーチ部門 A2 井上 咲 入賞なし

○ 寄附金の受入れ

受入年月日	寄附金の名称	寄附者	金額 (千円)	受入教員等
平成 27 年 4 月 14 日	学術研究助成金	株式会社アドウィン	100	大東由喜夫 外 4 名
平成 27 年 4 月 16 日	学術研究助成金	灘野 宏正	50	大東由喜夫 外 4 名
平成 27 年 6 月 30 日	学術研究助成金	一般社団法人 日本鉄鋼連盟	150	河村 進一
平成 27 年 5 月 29 日	学術研究助成金	株式会社スターロイ	500	重松 尚久
平成 27 年 5 月 26 日	学術研究助成金	黒木 太司	500	黒木 太司
平成 27 年 7 月 29 日	教育研究助成金	呉東ロータリークラブ	100	森野 教博
平成 27 年 11 月 9 日	学術研究助成金	株式会社サンエー	300	西坂 強
平成 27 年 12 月 28 日	学術研究助成金	株式会社 アドウィン	50	間瀬 実郎
平成 27 年 12 月 16 日	学術研究助成金	黒木 太司	1,500	黒木 太司
平成 28 年 1 月 20 日	学術研究助成金	株式会社アールテック・リジョウ	150	大東由喜夫 外 4 名
平成 28 年 2 月 19 日	学術研究助成金	野村 高広	100	野村 高広
平成 28 年 3 月 22 日	学術研究助成金	公益財団法人中国電力技術研究財団	200	田中 慎一
平成 28 年 2 月 29 日	学術研究助成金	株式会社能勢建築構造研究所	100	泉 洋輔
平成 28 年 3 月 22 日	学術研究助成金	株式会社タカラ	150	大東由喜夫 外 4 名

○ 創立 50 周年記念事業協賛金の受入れ (平成 28 年 3 月 31 日現在)

法人 4 件 46 千円
 個人 26 件 251 千円

○ 平成 27 年度学生数

本科

平成 27 年 4 月 1 日 現在

学科	学年					計
	1	2	3	4	5	
機 械 工 学 科	39 (5)	42 (3)	[1] 46 (1)	[1] 40 (3)	39 (2)	[2] 206 (14)

電気情報工学科	46 (4)	46 (1)	[1] 41 (5)	[1] 42 (4)	40 (2)	[2] 215 (16)
環境都市工学科	42 (9)	41 (10)	47 (7)	44 (9)	38 (8)	212 (43)
建築学科	45 (15)	40 (14)	[1] 43 (12)	44 (13)	[1] 34 (10)	[2] 206 (64)
計	172 (33)	169 (28)	[3] 177 (25)	[2] 170 (29)	[1] 151 (22)	[6] 839 (137)

※ () 内の数字は内数で女子を示し, [] 内の数字は内数で留学生を示す。

専攻科

学年 専攻	1	2	計
機械電気工学専攻	15	6	21
建設工学専攻	11 (2)	4 (2)	15 (4)
計	26 (2)	10 (2)	36 (4)

※ () 内の数字は内数で女子を示す。

○ 平成 27 度寮生数

平成 27 年 5 月 1 日現在

学年 学科	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	留学生	合計
機械工学科	19 (1)	15 (1)	21 (1)	15	7	2	79 (3)
電気情報工学科	11	17	17 (2)	17 (1)	14 (1)	2 (2)	78 (6)
環境都市工学科	17 (4)	14 (4)	17 (2)	11 (1)	12 (5)	0	71 (16)
建築学科	20 (8)	20 (6)	18 (8)	7 (1)	8 (2)	2	75 (25)
本科生 計	67 (13)	66 (11)	73 (13)	50 (3)	41 (8)	6 (2)	303 (50)

専攻科	10	1					11
-----	----	---	--	--	--	--	----

※（ ）内の数字は内数で女子を示す。

○ 平成 27 年度学生会役員一覧

学生会会長	M3	秦 直輝
学生会副会長	A3	松本 華澄
代議員会議長	M4	木村 祐也
代議員会副議長	C2	富永 凌太郎
文化環境委員長	C4	渡邊 優樹
文化環境副委員長	M3	三京 拓弥
保健体育委員長	C4	大森 昂
保健体育副委員長	M3	天野 圭
高専祭実行委員長	E4	佐野 智哉
高専祭実行副委員長	E4	秦 拓馬
広報委員長	C4	下岡 優希
広報副委員長	C3	山下 すみれ
選挙管理委員長	A4	濱本 真実
選挙管理副委員長	M3	池森 悠太
会計委員長	C4	賀谷 日向子
会計副委員長	M3	宮里 昂成
会計副委員長	C3	鍋島 美咲
庶務委員長	M4	小笠原 遼一
庶務副委員長	M3	現田 泰生
庶務副委員長	E3	目崎 照幸
庶務副委員長	A2	工藤 稔永
書記	E4	中村 優
書記	A2	高下 大和

○ 平成 27 年度前期 寮生活会員一覧

【 役員 】

職 名	クラス・氏名	担当教員
寮生会会長	M5 中井 大介	木 原
寮生会副会長	C4 大久保 拓	
規律委員長	M5 大室 拓也	山田 (祐)
規律副委員長	E4 川本 望	
厚生保全委員長	E5 片山 聡	井 上 谷 川
厚生保全副委員長	E4 小笠原 遼一	
レクリエーション委員長	E5 栗栖 哲士	蒲 地
レクリエーション副委員長	C4 定棟 一揮	
図書委員長	E5 安井 大輔	泉
図書副委員長	M4 西口十二郎	
庶 務	A5 早川 佳江	佐賀野
	C4 龍尾 一海	

【 ライフマスター 】

担当区分	クラス・氏名	担当教員
1寮 2 F 3 F 4 F	A5 伊達 千尋 C4 榮田 真子 C5 八木 香澄	蒲 地
2寮 東1F 西1F	E5 村本 瞭真 C5 河野 大地	谷 川
2寮 東2F 西2F	M4 船崎 亮太 A5 伊藤 裕貴	山田 (祐)
2寮 東3F 西3F	C5 濱岡 利基 E5 松葉 康平	井 上
2寮 東4F 西4F 東5F	A5 實成 優真 C5 藤平 卓也 A5 荒川 直人	泉
4寮 1 F 1 F 2 F 2 F 3 F 3 F	E4 栗栖 裕紀 M4 佐野 佳幸 E4 野曾原 雄貴 M4 原田 恵太 M4 高垣 駿 C4 渡邊 優樹	佐賀野

○ 平成 27 年度後期 寮生会役員一覧

【 役 員 】

職 名	クラス・氏名	担当教員
寮 生 会 会 長	C4 大久保 拓	木 原
寮 生 会 副 会 長	M3 宮里 昂成	
規 律 委 員 長	E4 川本 望	山田 (祐)
規 律 副 委 員 長	E3 内田 悠斗	
厚生保全委員長	E4 小笠原 遼一	井 上
厚生保全副委員長	M3 中尾 裕貴	谷 川
レクリエーション委員長	C4 定棟 一揮	蒲 地
レクリエーション副委員長	M3 池森 悠太	
図 書 委 員 長	M4 西口 十二郎	泉
図 書 副 委 員 長	C3 平田 秀樹	
庶 務	C4 龍尾 一海 C3 宮崎 一貴	佐賀野

【 ライフマスター 】

担当区分	クラス・氏名	担当教員
1寮 2 F 2 F 3 F	M3 高杉 栄美里 C4 榮田 真子 A3 村上 琴羽	蒲 地

2 寮	東 1F 西 1F	M4 佐野 佳幸 M4 高垣 駿	谷 川
2 寮	東 2F 西 2F	M4 原田 恵太 C4 渡邊 優樹	山田 (祐)
2 寮	東 3F 西 3F	E4 野曾原 雄貴 A3 赤毛 洸介	井 上
2 寮	東 4F 西 4F 東 5F	E4 栗栖 裕紀 M4 船崎 亮太 M3 秦 直輝	泉
4 寮	1 F 1 F 2 F 2 F 3 F 3 F	A3 伊藤 健太 C3 永田 渉 E3 千田 純一 C3 奈古 淳平 M3 岡本 拓矢 C3 浅野 快慧	佐賀野

○ 保護者懇談会

期 日 平成 27 年 6 月 20 日 (土), 6 月 28 日 (日)

会 場 本校

主な内容 ・全体懇談会
・学級別個人懇談会

出席者数 全体懇談会

6 月 20 日 (土) 175 名 (170 名)

6 月 28 日 (日) 145 名 (130 名)

計 320 名 (300 名)

出席率 46.9% (40.9%)

※注 () 内は, 昨年度を示す。

学級別個人懇談会

学年\学科		機 械	電気情報	環境都市	建 築	計	
1	学 生 数	39	46	42	45	172	
	出 席 数	6 月 20 日	20	22	18	0	60
		6 月 28 日	18	22	23	27	90
		その他	1	1	1	16	19
		計 (出席率)	39 (100.0%)	45 (97.8%)	42 (100.0%)	43 (95.6%)	169 (98.3%)
	欠 席 者	0	1	0	2	3	
2	学 生 数	42	46	41	40	169	
	出 席 数	6 月 20 日	19	21	20	21	81
		6 月 28 日	20	21	21	15	77
		その他	1	0	0	0	1
		計 (出席率)	40 (95.2%)	42 (91.3%)	41 (100.0%)	36 (90.0%)	159 (94.1%)

	欠 席 者	2	4	0	4	10	
3	学 生 数	45	40	47	42	174	
	出 席 数	6 月 20 日	15	18	21	24	78
		6 月 28 日	28	20	25	16	89
		その他	0	1	1	1	3
		計 (出席率)	43 (95.6%)	39 (97.5%)	47 (100.0%)	41 (97.6%)	170 (97.7%)
欠 席 者	2	1	0	1	4		
4	学 生 数	39	41	44	44	168	
	出 席 数	6 月 20 日	18	18	18	27	81
		6 月 28 日	18	13	22	16	69
		その他	0	2	0	1	3
		計 (出席率)	36 (92.3%)	33 (80.5%)	40 (100.0%)	44 (100.0%)	153 (91.1%)
欠 席 者	3	8	4	0	15		
計	学 生 数	165	173	174	171	683	
	出 席 数	6 月 20 日	72	79	77	72	300
		6 月 28 日	84	76	91	74	325
		その他	2	4	2	18	26
		計 (出席率)	158 (95.8%)	159 (91.9%)	170 (97.7%)	164 (95.9%)	651 (95.3%)
欠 席 者	7	14	4	7	32		

※注 学生数は、留学生及び休学者を含まない。

○ 第 1 回学校見学会

期 日 平成 27 年 8 月 2 日 (日)
 会 場 本校
 対 象 中学生, 保護者及び中学校教職員
 主な内容
 ・全体説明
 ・キャンパスツアー
 ・クラブ紹介活動パネル展示
 ・学科見学
 ・図書館や学生寮の見学
 参 加 者 中学生 367 名
 保護者 314 名
 教職員 4 名
 合 計 685 名

○ 平成 28 年度編入学生選抜学力検査

工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科, 総合学科 (主に工業に関する科目の履修者), 普通科又は理数科を卒業した者 (平成 28 年 3 月卒業見込みの者を含む), 本校において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者を対象に次のとおり実施した。

願書受付 平成 27 年 7 月 21 日 (火) ~23 日 (木)

検査日 平成 27 年 7 月 29 日 (水)
 検査内容 試験 (口述試問又は筆記試験), 面接
 合格発表日 平成 27 年 8 月 5 日 (水)

学科名・コース	募集人員	志願者	合格者
機 械 工 学 科	募集なし	0 (0)	0 (0)
電気情報工学科	若干名	1 (0)	0 (0)
環境都市工学科	募集なし	0 (0)	0 (0)
建 築 学 科	若干名	3 (0)	2 (0)
計		4 (0)	2 (0)

※ () 内の数字は内数で女子を示す。

○ 中学校訪問

中学校の進路指導に関与される先生方に、高専制度についてより深い理解をいただき、高専を志望する生徒に対する適切な進路指導をお願いするとともに、新入生、在校生及び卒業生の状況を報告して、進路指導に役立てていただき、今後、中学校との良好な提携関係が樹立されることを目的としている。第 25 回目となった昨年度は、近隣地域の重点訪問校 60 校及び広島地域の訪問校 37 校の併せて 97 校を訪問した。

○ 平成 28 年度専攻科募集要項

推薦による選抜

募集人員 機械電気工学専攻 8 名 (学力入学含む)
 建設工学専攻 8 名 (学力入学含む)
 願書受付 平成 27 年 5 月 1 日 (金) ~ 8 日 (金)
 検査日 平成 27 年 5 月 15 日 (金)
 検査内容 面接
 合格者発表 平成 27 年 5 月 20 日 (水)

学力による選抜

募集人員 機械電気工学専攻 8 名 (推薦入学含む)
 建設工学専攻 8 名 (推薦入学含む)
 願書受付 平成 27 年 6 月 2 日 (火) ~ 5 日 (金)
 検査日 平成 27 年 6 月 13 日 (土)
 検査内容 学力検査 (英語, 数学, 専門科目), 面接
 合格者発表 平成 27 年 6 月 19 日 (金)

○ 平成 28 年度入学者募集要項

推薦による選抜

募集人員	機械工学科 電気情報工学科 環境都市工学科 建築学科	} 各学科とも入学定員の 40%程度
願書受付	平成 28 年 1 月 6 日 (水) ~8 日 (金)	
検査日	平成 28 年 1 月 23 日 (土)	
検査内容	面接 (個人面接), 適性検査 (グループ面接又は筆記試験)	
合格者内定	平成 28 年 1 月 29 日 (金)	
合格者発表	平成 28 年 2 月 26 日 (金)	
入学説明会	平成 28 年 3 月 7 日 (月)	

学力による選抜

募集人員	機械工学科 40 名 電気情報工学科 40 名 環境都市工学科 40 名 建築学科 40 名	} 計 160 名 (推薦入学含む)
願書受付	平成 28 年 2 月 1 日 (月) ~2 月 5 日 (金)	
学力検査日	平成 28 年 2 月 21 日 (日)	
検査教科	国語, 社会, 数学, 理科, 英語	
合格者発表	平成 28 年 2 月 26 日 (金)	
入学説明会	平成 28 年 3 月 7 日 (月)	

○ 専攻科インターンシップ事前研修会

期 日	平成 27 年 7 月 11 日 (土)
場 所	専攻科棟講義室 (I)
講 師	溝上 裕二, 板野 浩一
対 象	専攻科 1 年生

○ 入試説明会

来春受験予定の中学 3 年生と保護者及び進路指導担当教諭を対象とした、平成 28 年度入試説明会を次のとおり開催した。

日 時	会 場	参加者数			備 考
		生徒・ 保護者	進路指導 教諭・塾	計	
10 月 4 日 (日) 14:00~	広島市 (広島大学東千田キャンパス)	104	1	105	
10 月 18 日 (日) 14:00~	呉市 (呉高専)	165	4	169	
10 月 18 日 (日) 14:00~	三次市 (みよし公園カチャセンター)	6	1	7	

10月25日(日) 14:00～	福山市 (福山YMCA)	35	3	38	
---------------------	-----------------	----	---	----	--

○ 特別見学

実施時期 平成 27 年 10 月 12 日 (月) ～16 日 (金)

学 科	主な見学先	引率教員	参 加 学生数
機 械 工 学 科 4 年	東京 (新日鐵住金(株)君津製 鉄所, 本田技研工業(株) 埼玉製作所外)	佐賀野 健 中迫 正一	38 名
電気情報 工 学 科 4 年	東京 (三菱電機ビルテクノサービス 株教育センター, 東京電 力(株)川崎火力発電所外)	横沼 実雄 平野 旭	42 名
環境都市 工 学 科 4 年	台湾 (台湾中央大学, 台湾海 洋大学, 鹿島建設事務所 外)	加納 誠二 及川 栄作 仁保 裕 光井 周平	26 名
建築学科 4 年			33 名

○ 第 2 回学校見学会

期 日 平成 27 年 10 月 31 日 (土)

会 場 本校

対 象 中学生, 保護者及び中学校教職員

主な内容

- ・全体説明
- ・学科見学
- ・学生寮紹介

参 加 者 中学生 132 名

保護者 110 名

合 計 242 名

○ 平成 28 年度入学者選抜実施状況

本 科

学科名	入学 定員	特別推薦		一般推薦			学力検査		
		志願者	合格者	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率
機械工学科	40	2 (0)	2 (0)	44 (3)	16 (2)	2.8	46 (2)	25 (2)	1.8

電気情報 工学科	40	7 (0)	7 (0)	38 (5)	16 (2)	2.4	35 (4)	18 (3)	1.9
環境都市 工学科	40	6 (3)	6 (3)	42 (7)	17 (6)	2.5	52 (5)	21 (3)	2.5
建築学科	40	12 (6)	12 (6)	49 (22)	16 (9)	3.1	41 (16)	16 (9)	2.6
合計	160	27 (9)	27 (9)	173 (37)	65 (19)	2.7	174 (27)	80 (17)	2.2

※ () 内の数字は内数で女子を示す。

専攻科

専攻	入学定員	試験 種類	志願者		合格者		倍率	
機械電気工学 専攻※	8	推 薦	2	(0)	15	12	1.3	1.2
		学 力	13	(1)				
		社会人	0	(0)				
建設工学 専攻※	8	推 薦	6	(0)	18	16	1.1	
		学 力	12	(1)				
		社会人	0	(0)				

※平成 28 年度の入学先はプロジェクトデザイン工学専攻 () 内の数字は内数で女子を示す。

○ 平成 27 年度入学志願者及び入学状況

本 科

	機械 工学科	電気情報 工学科	環境都市 工学科	建築学科	計
志願者	72 (3)	104 (9)	67 (12)	115 (39)	358 (63)
入学者	38 (5)	45 (4)	41 (9)	44 (15)	168 (33)

※ () 内の数字は内数で女子を示す。

※ 志願者の数字は第一志望を示す。

専攻科

	機械電気 工学専攻	建設 工学専攻	計
志願者	20 (0)	18 (3)	38 (3)
入学者	15 (0)	11 (2)	26 (2)

※ () 内の数字は内数で女子を示す。

○ 平成 27 年度卒業研究題目一覧

機械工学科

卒業研究題目	指導教員氏名	学生氏名
耐環境太陽光発電デバイスに関する SD (持続発展可能開発) 実践研究 (副題) 防砂用光導入窓の設計	山田 宏	中村 和真 中村 優太
強い縦渦を励起する三角翼列の研究	尾川 茂	明石 郁実
MATLAB を用いた鞭打ち傷害部傷害値の予測	尾川 茂	川口 雄大
三角翼前縁で剥離した縦渦によって励起される翼表面の圧力変動特性	尾川 茂	矢野 恵太
繰返し衝突によるステンレス表面の損傷現象に関する研究	西坂 強	荒木 巧 廣本 優貴
金属材料と高分子材料との接合界面に関する研究	西坂 強	岩崎 雄大 盛本 秀之
二重管式熱交換器の性能評価	高田 一貴	阿部 慎之助
冷却塔ブルームの可視化と低減のメカニズム	高田 一貴	北垣内 優太 吉田 智志
攪拌槽内の流動機構予測手法の検討	高田 一貴	中井 大介 宮田 祐貴
彎曲針刺入時の直線動作における医原性損傷の解析	岩本 英久	峠之内 和也 中元 健太
植物系潤滑油の耐スカuffing性能	中迫 正一	田中 真実 堀 雄貴
四球試験における金属ナノ粒子含有潤滑油のトライボロジー特性	中迫 正一	青野 晃
垂直軸風車の翼に関する調査実験	野村 高広	大室 拓也 水尻 健太
垂直軸風車の最適仕様の調査実験	野村 高広	廣瀬 達哉 吉村 太希
3D プリンターを用いたフライング・プレーンの開発	上寺 哲也	永岡 新太 西村 介 羽原 秀郎
遅延テスト容易な LSI 設計のためのスケジューリングに関する研究	吉川 祐樹	小杉 純平 新迫 直樹
レジスタ転送レベル回路の遅延テスト容易化設計に関する研究	吉川 祐樹	東 隆成 藤田 流静
増幅型液体アルゴン TPC の可能性検証実験のための装置開発	笠井 聖二	西村 宏志
液体アルゴン TPC 実用化に向けた読み出しエレクトロニクスの開発研究	笠井 聖二	藤井 康丸
進路指導に関わる書類作成システムの構築	深澤 謙次	小新田 康樹
STACK による高専用数学独習システムの構築	深澤 謙次	印藤 淳也 浜口 大蔵
仮想現実技術を用いた物理教材の開発についての研究	林 和彦	馬越 達也 福野 秀一 正留 世紀人 盛田 篤矢

電気情報工学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
高齢者安否確認システムの作成	横瀬 義雄	赤羽 真琴
一酸化炭素検知器の製作	山崎 勉	天川 裕将
超音波エコーを応用した視覚障害者用歩行支援機器の開発	横沼 実雄	上本 紘平
Measurment Evaluation on Dielectric Constant of PTFE and Fabrication of Band Pass Filtter using at 60GHz	黒木 太司	馬越 久徳
Consideration on Band-widening of Small-sized and Low Profile Antenna for Specific Low-power Radios at UHF-bands.	黒木 太司	岡村 溪史
転倒マス式雨量計の製作	外谷 昭洋	沖原 愛菜
土壌水分量計の開発	外谷 昭洋	乙吉 恵一朗
水質バイオアッセイデータ Web アップロードシステムの改善	平野 旭	笠原 慎平
CFRP 用 3D プリンタの製作とサンプル試作	山脇 正雄	片山 聡
RFID 実験装置の開発に関する研究	藤井 敏則	上瀬 海
超音波エコーを応用した視覚障害者用歩行支援機器の開発	横沼 実雄	紙田 寛人
進路指導に関わる書類作成システム構築	深澤 謙次	北倉 健悟
小型飛行体の基礎研究	外谷 昭洋	木原 悠貴
CO2 測定器の製作	山崎 勉	栗栖 哲士
福祉車両における自動走行制御に関する研究	藤井 敏則	作田 安希忠
Scratch を用いたプログラミング授業導入の改善	井上 浩孝	下手 祥
運動解析用加速度計測装置の開発	板東 能生	園部 雄希
生体信号処理初学者用 EMG Shield の開発	平野 旭	太間 皓荘
自己生成ニューラル木を用いた追加学習に関する研究	井上 浩孝	竹寄 幸之助
亜酸化窒素水溶液の紫外線による分解に関する研究	板東 能生	田坂 優太
PIC マイコンを用いた音声信号処理システムの試作	田中 誠	谷口 総司
小型口腔内圧測定装置を用いた臨床的嚥下能力診断システムの開発	外谷 昭洋	難波 佳那
PSoC5LP を用いた実習教材の開発	田中 誠	西山 貴将
CFRP 用 3D プリンタの製作とサンプル試作	山脇 正雄	野平 滉人
電流センサを用いた高齢者安否確認システム	横瀬 義雄	信藤 大輝
亜酸化窒素濃度センサー	板東 能生	引地 卓
RFID 実験装置の開発に関する研究	藤井 敏則	姫野 佑介
畳込みニューラルネットワークにおける画像認識の評価	井上 浩孝	藤井 祐貴
RaspberryPi を用いた一人暮らし高齢者遠隔見守りシステムの開発	田中 誠	藤本 祥吾
電流センサを用いた高齢者安否確認システム	横瀬 義雄	古田 優希
運動教示システムでの利用を想定した無線通信による筋出力提示システム	平野 旭	松葉 康平
Study on Evaluation of Unloaded Q-factor of NRD Guide at 94 GHz Band	黒木 太司	宗藤 恒太郎
車輪内の振動発電に関する研究	横沼 実雄	村本 瞭真
CFRP 用 3D プリンタの製作とサンプル試作	山脇 正雄	室川 英知
DC ブラシレスモータの差動速度制御に関する研究	横沼 実雄	森下 瑛彦
Study on Surface Current Probe on Metal Body at UHF Frequencies	黒木 太司	安井 大輔

各種センサを用いた物体の位置同定及びワイヤレス通信	山脇 正雄	山内 亮也
顔識別インターホンシステムの製作	板東 能生	山本 航也
高齢者安否確認システムの作成	横瀬 義雄	吉川 和秀
自己組織化ニューラル木立を用いたパターン認識に関する実験	井上 浩孝	吉原 涼平

環境都市工学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
運転免許非保有者の交通規則と交通マナーに関する知識量・意識・行動の実態分析	山岡 俊一	小西 菜月
自然堆積粘土地盤の水平方向透水係数の測定法に関する研究	森脇 武夫	丸亀 伸
平成 26 年 8 月広島土砂災害における人的被害と地形の関係	加納 誠二	大竹 愛海
ダム湖水のカビ臭生成に及ぼす湖内流動の影響	黒川 岳司	泉 真太郎
食料生産型の養殖廃水処理システムの開発	谷川 大輔	中野 景介
噴流型流動促進装置の配置が水域内循環流に及ぼす影響	黒川 岳司	奈古 祐介
豪雨による斜面崩壊メカニズムに関する研究	森脇 武夫	藤井 湧大
呉市まちづくり推進協議会の実態と課題に関する研究	山岡 俊一	山下 太郎
バイオスティミュレーション法を用いた地盤改良工法に関する基礎的研究	加納 誠二	中曾 萌 長見 拓磨
嫌気性バツフル反応器と下降流懸垂型スポンジリアクターを用いた高濃度油分含有廃水の連続処理	谷川 大輔	藤平 卓也
脱共役作用を持つジクロロフェノール類の余剰汚泥削減効果の検討	木村 善一郎	磯本 侑真
ボリビア国での斜面防災に向けた危険雨量指標 R' を用いた雨量解析	加納 誠二	河野 大地
若材齢フライアッシュコンクリートのヤング係数に関する一考察	三村 陽一	岡部 知里 川原 拓玖
高齢化の進む地域におけるコミュニティの実態と住民意識に関する基礎的研究 —広島県呉市阿賀地区を事例に—	山岡 俊一	下城 香織
ジェットポンプ式流動装置の装置形状の違いによる混合管内流動の変化	黒川 岳司	牛尾 幸航
杭打設に伴う連れ込み現象が基礎地盤の遮水機能へ及ぼす影響に関する研究	森脇 武夫	藤原 昂洋
水質改善装置による循環流形成と成層破壊過程に関する実験的研究	黒川 岳司	塩谷 嘉健
(非公開)	及川 栄作	大久保 諒
(非公開)	及川 栄作	濱岡 利基
(非公開)	木村 善一郎	坂本 拓郎
小粒径牡蠣殻ポーラスコンクリートの緑化性能に関する研究	堀口 至	武田 怜也 八木 香澄
円柱・角柱周り流れの三次元有限要素解析におけるスパン方向長さ・境界条件の影響	河村 進一	岡本 真尚
長寿遺伝子を発現するためのプラスミドベクターの構築	及川 栄作	上岡 雅子
TBM センターカッタービットに作用する力の測定方法に関する研究	重松 尚久	北地 潤至
TBM センターカッタービットの最適化に関する基礎的研究	重松 尚久	岡村 直弥 松田 和也
ドローン空撮写真による三次元地形モデル作成に関する研究	河村 進一	道本 真悟

材齢 7 日に載荷した FA コンクリートのクリープ特性	三村 陽一	久田 純平 山中 勇人
廃棄物処理と有価物生産を同時に可能にする一体型電気バイオリアクターの構築	木村 善一郎	栗山 大輝
下降流懸垂型スポンジリアクターによるバイオガス精製	谷川 大輔	下鍛治 大樹
三次元地形情報の浸水シミュレーションへの適用性に関する研究	河村 進一	播磨 航
無加水メタン発酵槽による食品廃棄物の処理性能評価	谷川 大輔	水谷 航
ハイブリッドポーラスコンクリートの開発に関する研究	堀口 至	木山 直道

建築学科

卒業研究題目	指導教員	学生氏名
ガラス繊維を用いた建築構造物の耐震補強・補修に関する研究	松野 一成	青野 芽生
provide a place ～新たな学びの場～	間瀬 実郎	秋元 康大
カードバトルゲームを応用した住宅火災に関する教材開発	岩城 考信	荒川 直人
柱-通し貫接合部の変形特性に及ぼすくさびの影響	光井 周平	石本 晃慈
大久野島における宿泊施設の改修プラン	西宮 善幸	伊藤 裕貴
ガラス繊維を用いた建築構造物の耐震補強・補修に関する研究	松野 一成	植田 のぞみ
緑の公園～都市の休息, 人の休憩～	安 箱敏	蛭子 雄一
呉市両城・三津田地区におけるレンガ塀の意匠的特徴とその立地特性	岩城 考信	大窪 峻太郎
呼吸代謝分析装置を用いた着衣熱抵抗の測定方法の検討	大和 義昭	岡本 和己
久遠の光仰ぐ呉 呉市体育館リニューアル計画	間瀬 実郎	岡本 唯樹
耐震診断法に対応した木造住宅の耐震模型の開発	光井 周平	小川 俊樹
日本における水と結びつく災害とその対策に関する研究	岩城 考信	櫻井 宗一郎
呼吸代謝分析装置を用いた着衣熱抵抗の測定方法の検討	大和 義昭	佐々木 知菜
小学校における使われ方調査の誘導的実験授業の開発	下倉 玲子	志毛 登
柱-通し貫接合部の変形特性に及ぼすくさびの影響	光井 周平	新尾 拓也
過疎地域活性と廃校防止のための住民団体の取り組み	下倉 玲子	高橋 遥乃
『新建築』からみる戦後の動く建築とその社会背景	岩城 考信	伊達 千尋
パッシブ制振構造の基本設計に関する調査研究	泉 洋輔	富山 莉々華
ガラス繊維を用いた建築構造物の耐震補強・補修に関する研究	松野 一成	中野 凌
孔開き鋼板の有効断面積算定に関する実験的研究	仁保 裕	中村 翔馬
孔開き鋼板の有効断面積算定に関する文献調査	仁保 裕	永井 智彬
つながる呉 ーJR 呉駅 駅舎と駅前広場の計画ー	篠部 裕	西川 美帆
地域をつくる SOHO ソーシャルアパートメント寺家	下倉 玲子	西田 雄登
音戸の瀬戸を一望できる複合施設計画	安 箱敏	西原 慎平
福山市鞆の浦アート偏在計画+棧橋と道の駅 ー人を招き入れる新たな燈火ー	間瀬 実郎	花谷 知紀
ガラス繊維を用いた建築構造物の耐震補強・補修に関する研究	松野 一成	早川 佳江
パッシブ制振構造の基本設計に関する調査研究	泉 洋輔	藤原 拓己
歴史的・文化的伝統を舞台芸術に表現する劇場	安 箱敏	藤原 有衣香
Office plan ～オフィス空間の作業効率を高める～	西宮 善幸	三島 大輝
耐震診断法に対応した木造住宅の耐震模型の開発	光井 周平	溝手 守
呉高専実習工場ブレースの自己歪に関する基礎的研究	仁保 裕	道本 郁也

ガラス繊維を用いた建築構造物の耐震補強・補修に関する研究	松野 一成	實成 優真
旧広島市民球場跡地に建つ新たなシンボル ーサッカースタジアムの計画ー	間瀬 実郎	山徳 祥太
SS ハウス ー新たなコミュニケーションの場ー	西宮 善幸	オノン

○ 平成 27 年度専攻科特別研究題目一覧

機械電気工学専攻

(機械系)

特別研究題目	指導教員	学生氏名
反射高速電子回折を用いた表面構造研究	林 和彦	内田 博也
三角翼前縁で発生する縦渦構造と空力音に関する研究	尾川 茂	竹田 淳平
縫合針引抜き動作による医原性損傷の解析に関する研究	岩本 英久	福本 悠介

(電気系)

特別研究題目	指導教員	学生氏名
ミリ波帯可撓性伝送線路の研究	黒木 太司	北林 智
金属ロッド共振器を用いたミリ波帯自己注入同期発振器の研究	黒木 太司	寺本 慎
自己組織化ニューラル木立を用いた追加学習に関する研究	井上 浩孝	都田 智大

建設工学専攻

(環境都市系)

特別研究題目	指導教員	学生氏名
電離水素水の活性化法と応用に関する研究	黒川 岳司	馬越 唯斗
粘土の圧縮性と透水性に及ぼす圧縮方向と排水方向の影響	森脇 武夫	坂田 将大
運転免許非所有者の交通規則・交通マナーの知識量に関する調査研究	山岡 俊一	西岡 恵里奈

(建築系)

特別研究題目	指導教員	学生氏名
住民意識調査からみた空き家整備の一考察 (呉市を事例として)	篠部 裕	山田 萌子

○ 卒業生数及び就職・進学状況

区分 学科・専攻		卒業生数			就職者数			進学者数			その他		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
本科	機械工学科	37	2	39	23	1	24	13	1	14	1		1
	電気情報工学科	38	2	40	34	1	35	4	1	5			
	環境都市工学科	30	7	37	22	7	29	8		8			
	建築学科	24	10	34	12	9	21	12	1	13			
	計	129	21	150	91	18	109	37	3	40	1		1
専攻科	機械電気工学専攻	6		6	4		4	2		2			
	建設工学専攻	2	2	4	2	2	4						
	計	8	2	10	6	2	8	2		2			

○ 大学編入者等状況（学科別）

区分 学科	編入学等 希望者数			大学編入者数									高専専攻科 入学者数			編入学等 未決定者			その他		
				3 年次編入者数			2 年次編入者数			計											
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
機 械 工 学 科	13	1	14	6	1	7				6	1	7	7		7				1		1
電 気 情 報 工 学 科	4	1	5	2		2				2		2	2	1	3						
環 境 都 市 工 学 科	8		8	2		2				2		2	6		6						
建 築 学 科	12	1	13	6		6				6		6	6	1	7						
計	37	3	40	16	1	17				16	1	17	21	2	23				1		1

○ 大学編入者等状況（大学別）

区分 出身 学科 大学・ 専攻科等	編入者数												1 年次入学者数					その他				
	3 年次編入者				2 年次編入者				計				機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	計	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	計
	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科										
国 立	大 阪 大 学	1		1					1		1			2								
	富 山 大 学	1							1					1								
	神 戸 大 学	1							1					1								
	東 京 農 工 大 学	1							1					1								
	筑 波 大 学	1			1				1			1	2									
	熊 本 大 学	1			1				1			1	2									
	広 島 大 学		1								1		1									
	高 知 大 学		1								1		1									
	横 浜 国 立 大 学				1							1	1									
	豊 橋 技 術 科 学 大 学	1		1	1				1		1	1	3									
公 立	滋 賀 県 立 大 学				1							1	1									
私 立	神 戸 芸 術 工 科 大 学				1							1	1									
高 専	興 工 業 高 等 専 門 学 校 専 攻 科	7	3	6	7				7	3	6	7	23									
計		14	5	8	13				14	5	8	13	40									

○ 求人数及び就職状況

区分 学科・専攻	就職希望者 A			求人数 B	就職者数 C			求人倍率 B/A	就職率 C/A×100			
	男	女	計		男	女	計		男	女	計	
本 科	機 械 工 学 科	23	1	24	656	23	1	24	27.3	100	100	100
	電 気 情 報 工 学 科	34	1	35	731	34	1	35	20.9	100	100	100
	環 境 都 市 工 学 科	22	7	29	412	22	7	29	14.2	100	100	100
	建 築 学 科	12	9	21	382	12	9	21	18.2	100	100	100
	計	91	18	109	2181	91	18	109	20.0	100	100	100
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	4		4	507	4		4	126.8	100	100	100
	建 設 工 学 専 攻	2	2	4	375	2	2	4	93.8	100	100	100
	計	6	2	8	882	6	2	8	110.3	100	100	100

○ 事業所の規模別就職状況

区分 学科・専攻		就職者			従業員 500人以上の事 業所			従業員 100~499人の 事業所			従業員 100人未満の事 業所			官公庁・公 団			海外企業		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
本 科	機 械 工 学 科	23	1	24	22		22					1	1	1	1				
	電 気 情 報 工 学 科	34	1	35	32	1	33	2		2									
	環 境 都 市 工 学 科	22	7	29	17	4	21	4		4				1	3	4			
	建 築 学 科	12	9	21	9	8	17	2	1	3				1		1			
	計	91	18	109	80	13	93	8	1	9		1	1	3	3	6			
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	4		4	3		3				1		1						
	建 設 工 学 専 攻	2	2	4		1	1						2	1	3				
	計	6	2	8	3	1	4				1		1	2	1	3			

○ 産業別就職状況

区分 卒業 者 数 学科・専攻		建 設 業	製 造 業										電 気 ・ ガ ス ・ 水 道	情 報 通 信	運 輸 郵 便	卸 売 ・ 小 売 業	不 動 産 業	技 術 サ ー ビ ス 業	サ ー ビ ス 業	官 公 庁 ・ 公 団	就 職 者 計	
			食 料 品	靴 製 業	印 刷 業	化 学 工 業	鉄 鋼 業	一 般 機 械 器 具	電 子 部 品 ・ 電 子 回 路	電 気 ・ 情 報 通 信 機 械 器 具	輸 送 用 機 械 器 具	そ の 他										計
本 科	機 械 工 学 科	39	1				4	3	3		1	5	16	1		1	1		3		1	24
	電 気 情 報 工 学 科	40	6			1	1	1	1	3	4	11	9	2	2	1			4			35
	環 境 都 市 工 学 科	37	11					1		1		2	4		4				4		4	29
	建 築 学 科	34	13							1		1	1		1		1	1	2	1	1	21
	計	150	31			5	4	5	1	6	9	30	15	2	8	2	1	12	2	6	109	
専 攻 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	6					1	1			1	3							1			4
	建 設 工 学 専 攻	4													1						3	4
	計	10					1	1		1	3				1				1	3	8	

○ 平成 27 年度図書統計

1 利用 (開館日数 279 日)

貸出冊数・人数 (上段; 冊数 下段; 人数)

区分 学年	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科	建 築 学 科	機 械 電 気 工 学 専 攻	建 設 工 学 専 攻	合 計
1 年	26	45	27	42			140
	15	34	18	29			96
2 年	43	45	70	204			362
	27	35	40	127			229
3 年	150	412	142	627			1,331
	89	265	89	323			766
4 年	143	684	172	175			1,174
	95	460	104	99			758

5 年	143 79	346 198	188 107	374 195			1,051 579
専攻 1 年					214 110	55 26	269 136
専攻 2 年					13 11	26 16	39 27
学生 計	505 305	1,532 992	599 358	1,422 773	227 121	81 42	4,366 2,591
教員							387 171
職員							470 284
学外者							122 51
合計							5,345 3,097

入館者数

合計
30,203 人

2 蔵書

平成 28 年 3 月 31 日現在

区分	分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
図書	和書	6,046	3,987	7,871	11,172	12,891	22,259	1,110	3,483	3,726	12,675	85,220
	洋書	473	484	161	310	1,053	1,477	23	195	1,858	1,343	7,377
	計	6,519	4,471	8,032	11,482	13,944	23,736	1,133	3,678	5,584	14,018	92,597

所蔵雑誌種類数

国内雑誌	1,084 種
外国雑誌	304 種

3 平成 27 年度文献複写依頼統計

区分	ILL		JST	国立国会図書館		その他	合計
	電子式	マイクロ		電子式	マイクロ		
件数	53	0	0	9	0	1	【35】 63
枚数	239	0	0	25	0	4	【265】 268

注) 【 】内は昨年度の合計を表す。

4 平成 27 年度相互貸借

区分	依頼	受付
件数	21	0

行事日誌

○ 4 月行事日誌

- 1 日 春季休業 (4 日まで)
- 4 日 学生寮開寮
- 5 日 入学式・編入学式
入寮式
新入寮生歓迎夕食会
- 6 日 始業式・対面式
専攻科新入生オリエンテーション
専攻科 2 年生新年度ガイダンス
新入生オリエンテーション (8 日まで)
- 7 日 新年度ガイダンス (2~5 年生)
- 8 日 学生の健康診断 (6 月 25 日まで)
- 11 日 遠足 (1 年)
- 15 日 専攻科入学説明会
- 18 日 新入寮生歓迎行事
第 63 回寮生指導者研修会
- 23 日 寮生会総会
- 24 日 学生寮防災避難訓練
- 25 日 専攻科生研究交流会 (26 日まで)
- 29 日 保護者参観公開授業

○ 5 月行事日誌

- 1 日 専攻科推薦入学願書受付 (8 日まで)
- 9 日 体育祭
- 13 日 学生総会
- 15 日 専攻科推薦入学試験
- 20 日 専攻科推薦入学合格者発表
- 22 日 前期中間試験 (28 日まで)
- 28 日 平成 27 年度第 1 回ブックハンティング
一般定期健康診断

○ 6 月行事日誌

- 2 日 専攻科学力入学願書受付 (5 日まで)
- 4 日 学生寮映画祭
- 11 日 文化行事
英語統一テスト

- 13 日 専攻科学力入学試験
- 17 日 1 学年カウンセラー講話
- 19 日 専攻科学力入学試験合格者発表
- 20 日 保護者懇談会 (第 1 回)
学生寮保護者懇談会 (1 回目)
学生寮保護者連絡会総会
- 26 日 専攻科学位授与申請説明会
- 28 日 保護者懇談会 (第 2 回)
学生寮保護者懇談会 (2 回目)

○ 7 月行事日誌

- 3 日 第 51 回中国地区高専体育大会 (5 日まで)
専攻科インターンシップ事前研修会
- 8 日 安全標語の表彰式
- 11 日 第 97 回全国高等学校野球選手権記念大会広島大会
- 15 日 3 学年カウンセラー講話
- 21 日 編入学試験願書受付 (23 日まで)
- 27 日 前期末試験 (31 日まで)
- 28 日 AED 講習会
- 29 日 編入学者選抜試験
- 31 日 学生寮部屋替 (役員・LM・1 年生)

○ 8 月行事日誌

- 2 日 学校見学会 (第 1 回)
- 5 日 編入学試験合格者発表
- 7 日 閉寮前大掃除
- 8 日 学生寮閉寮
- 12 日 夏季休業開始
- 14 日 第 50 回全国高専体育大会 (8 月 30 日まで)
- 20 日 第 24 回西日本地区高専アーチェリー競技会 (21 日まで)
- 26 日 全国高等専門学校デザインコンペティション 2015 AM デザイン (3D プリンタ) 部門 (夏大会)

○ 9 月行事日誌

- 23 日 夏季休業終了
学生寮開寮
- 24 日 校長訓話
- 30 日 寮生会総会

○ 10 月行事日誌

- 2 日 球技大会
- 4 日 入試説明会 (広島)
- 10 日 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2015 中国地区大会 (11 日まで)
- 11 日 全国高等専門学校第 26 回プログラミングコンテスト (12 日まで)
- 12 日 特別見学 (16 日まで)
- 15 日 第 11 回ステップキャンパス (野呂山及び呉工業高等専門学校, 16 日まで。第 3 学年)

- 18 日 入試説明会 (呉, 三次)
- 20 日 第 64 回寮生指導者研修会 (グリーンピアせとうち)
保護者参観公開授業
- 25 日 入試説明会 (福山)
- 29 日 寮祭
- 30 日 高専祭準備
- 31 日 第 51 回高専祭 (11 月 1 日まで)
学校見学会 (第 2 回)

○ 11 月行事日誌

- 13 日 第 51 回中国地区高等専門学校体育大会 (冬季大会) (15 日まで)
第 31 回中国地区高等専門学校英語弁論大会 (14 日まで)
- 14 日 全国高等専門学校デザインコンペティション 2015in 紀の国わかやま (15 日まで)
- 16 日 永年勤続者表彰式
- 24 日 後期中間試験 (30 日まで)
- 30 日 平成 27 年度第 2 回ブックハンティング

○ 12 月行事日誌

- 3 日 校長表彰
- 16 日 ハラスメント防止講演会
- 17 日 第 47 回スポーツリーダーズセミナー
- 23 日 学生寮閉寮
- 24 日 冬季休業開始

○ 1 月行事日誌

- 6 日 推薦入学試験願書受付 (8 日まで)
- 7 日 冬季休業終了
学生寮開寮
- 14 日 学習到達度試験 (3 年)
- 22 日 学生総会
校内駅伝大会
- 23 日 推薦入学試験
- 29 日 推薦入学合格内定者発表

○ 2 月行事日誌

- 1 日 学力入学試験願書受付 (5 日まで)
- 3 日 安全衛生に関する講習会
- 9 日 学年末試験 (16 日まで)
- 16 日 卒業寮生歓送夕食会
- 21 日 平成 28 年度入学者選抜学力検査
- 23 日 学生会役員研修セミナー
- 26 日 入学者選抜合格者発表
終業式
閉寮前大掃除
- 27 日 学生寮部屋替

- 28 日 学生寮閉寮
- 29 日 学年末休業 (3 月 31 日まで)

○ 3 月行事日誌

- 7 日 入学説明会
- 15 日 入学手続 (17 日まで)
- 18 日 卒業式・修了式
- 22 日 追認試験 (28 日まで)

その他

○ 叙位・叙勲

- 6 代校長 名誉教授 福永 秀春
瑞宝中綬章を授ける。(平成 27 年 11 月 3 日)